

カナダ金融政策（2022年6月）

2会合連続となる0.5%ポイントの利上げ

2022年6月2日

必要に応じて「更に力強い措置」を講じる用意

カナダ銀行は6月1日（現地）に金融政策決定会合を開催し、政策金利を1%から1.5%に引き上げることを決定しました【図1】。利上げは今年3月から3会合連続、利上げ幅は前回と同じ0.5%ポイントです。

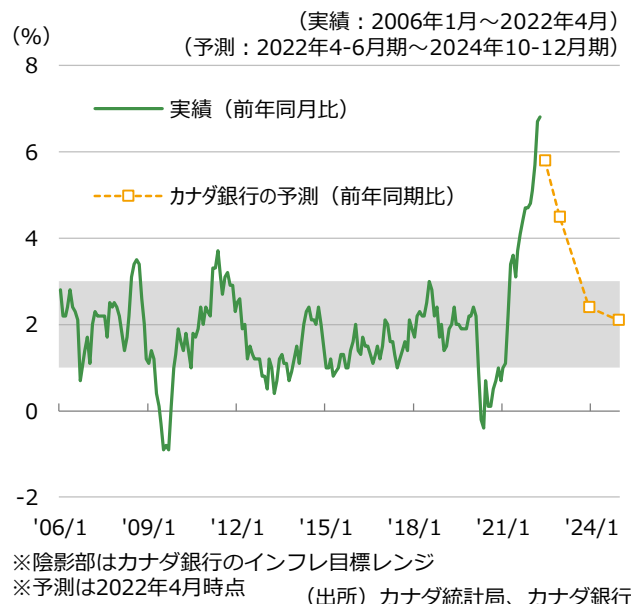
声明文はインフレへの懸念を強調する内容でした。具体的には、①5月に発表された4月消費者物価指数（前年同月比）は+6.8%とカナダ銀行の予測を大きく上回っていること（前回4月会合時点では4-6月期を前年同期比+5.8%と予測していた）【図2】、②消費者物価指数は短期的に一段と加速する可能性が高いこと、③高インフレが定着するリスクが高まっていること、などを指摘しています。

こうした状況下、カナダ銀行は「政策金利を一段と引き上げる必要があると判断し続けている」とした上で、「2%のインフレ目標を達成するために、必要に応じて更に力強い措置を講じる用意がある」と述べています。すでに0.5%ポイントの利上げは「力強い措置」と言えますが、「更に」を追加したことでインフレ抑制への姿勢を一層強めたと解釈できます。「更に」は、利上げ幅を0.75%ポイントに拡大させるといふより、0.5%ポイントの利上げを続けることを意図している可能性が高いと思われます。市場は従来、次回7月会合での0.5%ポイント利上げの後、9月会合からは利上げ幅が0.25%ポイントに縮小すると想定していましたが、声明文を受けて9月も0.5%ポイントの利上げが続くことをより強く意識するようになりました。その通りであれば、政策金利は9月に中立金利の中心（2.5%）に到達することになります。

図1：カナダの各金利



図2：カナダの消費者物価指数



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management